

平成 14 年度事業報告

1 事業の概要

千葉市を取り巻く経済環境は、社会経済情勢の変革や長期にわたるデフレ不況の影響により、大変厳しい状況にある。開廃業率の逆転や事業所数及び従業員数減少、さらには国を下回る有効求人倍率等に見られるように、地域経済の活性化が急務の課題である。このような中で、経済の閉塞感を打破し、雇用機会を確保するためには、新産業の創出促進や中小企業をはじめとした既存産業の経営革新など、新たな施策を展開する必要がある。そこで千葉市では、ベンチャー企業の育成や中小企業の総合的支援体制の中心的組織としてはもとより、今後展開される様々な産業振興施策の実施主体として、また本市の経済政策の重要な役割を担う組織として(財)千葉市産業振興財団を平成 13 年 4 月 1 日に設立し、マネージャーをはじめとする専門知識を有した民間専門家を活用し、種々の支援事業を実施した。

事業の実績としては、企業訪問や経営相談などで収集した情報に基づいて行った専門家派遣事業、特許取得支援事業、新技術実用化支援事業、人材育成のための各種セミナー・研修事業、創業支援事業としてのインキュベート施設の整備運営、HP や産業情報誌の発行による情報提供事業を行った。本年 4 月よりは新事業創出促進法に基づく中核的支援機関として、ベンチャー企業育成や産学官交流事業を始めとする新事業の創出促進に係わる事業を実施した。また 10 月には第 1 回「ベンチャーカップ CHIBA」を開催し、ベンチャー企業とキャピタル等のマッチングを行った。また商店街の活性化を図るため、商店街にアドバイザーを派遣し地域に根ざした事業展開を支援したほか、経営基盤の安定を図るための資金融資事業を行うなど、きめ細かな支援を図った。

2 事業内容

(1) 経営・技術支援事業

ア 事業可能性評価

(ア) 事業可能性評価事業

事業可能性評価委員会を設置し、事業プランの有望性や専門家派遣、インキュベート入居者などについて審査・評価を行った。

a 委 員: チーフマネージャー、マネージャー、外部有識者 計 11 名

b 回 数: 11 回(原則月 1 回)

c 主な議題: 事業計画の有望性の審査・評価

専門家派遣の決定

インキュベート事業利用申込者の審査

イ 窓口相談

マネージャー・専門相談員・弁護士による相談・助言

相談件数: 395 件(資金相談 116 件、経営全般 34 件、法律相談 33 件ほか)

ウ 専門家派遣

(7) 専門家派遣事業

事業者・創業者等の技術上の諸問題や経営上の諸問題について、専門家を派遣し、各種診断・助言を実施した。

a 派遣件数:12 件

b 派遣日数:100 日

c 主な派遣

(株)アキテック ノイズカットトランス周辺部品加工技術の指導(10 日)

(株)成光商会 真空フライヤーの開発(10 日)

(株)アトラス 高速道路橋脚・原子力発電設備・石油精製プラント参入に向けた技術指導(6 日) ほか

(1) 専門家登録 164 名

(中小企業診断士 73 名, 技術士 48 名 ほか)

(2) 創業支援施設事業

ア ビジネスインキュベーション施設管理運営事業

(7) 中央ビジネスインキュベーション施設(6 室)

a 利用期間延長審査

7 月 24 日に事業可能性評価委員による承認審査を行い、全社を承認した。

b 空き室入居審査

一室退去者があったため入居者の募集・審査を実施した。

(a) 募集期間:1 月 15 日(水)～2 月 14 日(金)

(b) 審査日 :2 月 19 日(水)

(c) 審査者 :事業可能性評価委員(応募:5 件)

(1) 富士見ビジネスインキュベーション施設(8 室)

入居の募集・審査を行い、1 月 1 日より利用を開始した。

a 募集期間:8 月 16 日(金)～10 月 16 日(水)

b 選 考:事業可能性評価委員会にて応募 14 件より 8 者を決定

イ 商業インキュベーション施設管理運営事業

(7) 富士見商業インキュベーション施設(6 室)

入居の募集・審査を行い、1 月 8 日より 6 店が一斉開業した。

a 募集期間:8 月 16 日(金)～10 月 16 日(水)

b 選 考:事業可能性評価委員会にて応募 28 件より 6 者を決定

ウ インキュベーション支援事業

インキュベーション施設入居者をはじめとした創業者に対して、総合的な一貫支援を行なうためのインキュベーションマネージャーを配置した。

エ 産業支援施設整備事業

ビジネススクールの開設及び市内事業者の交流や商談などの場として三菱信託銀行千葉ビル 5 階に会議室、研修室等の産業支援施設を設けた。

(3) 情報提供事業

ア 産業情報提供事業

データベース化した各種産業情報をインターネットを通じて発信・提供するとともに、支援機関とのリンクなどネットワークの構築を図った。

提供情報：財団事業案内、イベント情報、企業情報など

(ア) 登録・掲載数

- a 登録企業数(いいネット)：496 件
- b 元気企業掲載数：26 件

(イ) データベースの構築と公開準備

- a 空き店舗データベース(3月28日公開)
- b 人材データベース等(3月28日公開)
- c 商店街データベース(3月28日公開)

イ 産業情報誌等発行事業

各種産業情報を掲載した「千葉市産業支援だより」を発行し、市内中小企業者及び団体等に的確な情報の提供を図った。

(ア) 掲載情報 経済トピックス、財団事業案内、企業情報など

(イ) 発行回数 年6回(隔月)

(ウ) 発行部数 各2,000部

(エ) 頒布先 市内商店会、各種団体等

(オ) 頒 価 無料

(4) 人材育成事業

ア セミナー

(ア) 経営セミナー事業

中小企業経営者等へ経済情勢や経営課題などに関する情報を提供するため千葉商工会議所と共催により講演会を実施し、振興育成を図った。

- a 対 象 市内中小企業経営者及び管理者並びに団体役員等
- b 実施日 10月30日(水)13:30～17:00
- c 場 所 千葉商工会議所 14階第1ホール
- d テーマ 「企業原人への転身」 近江兄弟社社長 岩原 侑 氏
「どうなる日本」 読売新聞編集委員 橋本 五郎 氏
- e 参加者 113 名

(イ) IT セミナー事業

情報技術革命の啓発普及を図るためのセミナーを実施し、高度化する情報化社会に対して、経営管理の合理化の推進を図った。

- a 対 象 市内中小企業経営者及び管理者等
- b 実施日 第1回 9月26日～10月24日(3日間) 参加 30 名
第2回 1月16日～2月13日(3日間) 参加 28 名

- c 場 所 財団研修室
- d 内 容 情報化に関する基礎的・入門的知識の習得及び演習
(文書作成, 売上・仕入集計・グラフ作成, インターネット実習等)

イ 研修

(ア) パソコン研修事業

パソコン操作の基礎から応用まで各レベルに応じた研修を実施し, 中小企業の実務担当者の技術習得の向上を図った。

- a 対 象 事業者, 従業者, 創業者等
- b 実施日 第1回 10月14日～11月14日
第2回 11月19日～12月5日
第3回 2月18日～3月6日
(各回とも3日間の初級:ワード, 中級:エクセル, 上級:ホームページの3コースで計9講座を開設した)
- c 場 所 財団研修室
- d 参加者 初級:81名, 中級:84名, 上級:84名

(イ) 創業者研修事業

創業に必要な基礎知識や具体的なビジネスプラン等に関する研修を実施した。

- a 対 象 創業を志す者等
- b 実施日 第1回 9月7日～10月5日(5日間) 参加21名
第2回 1月18日～3月15日(5日間) 参加16名
- c 場 所 財団研修室
- d 内 容 創業時の検討のポイント, 法人の設立手続き, ビジネスプラン作成のポイント ほか

(ウ) ビジネススクール事業

優秀な技術者や経営能力の高い事業者を育成するため, 市内の大学等と連携し, 実践的カリキュラムによるビジネススクールを計10回開催した。

- a 第1・7回ビジネススクール[東京情報大学:経営系]
 - (a) 内 容 教材「マネジメントゲーム」を活用した経営シミュレーション
 - (b) 実施日 第1回 6月29日～7月28日(6日間)参加17名
第7回 1月25日～2月23日(6日間)参加20名
- b 第2・5・6・9回ビジネススクール[(株)ファソテック:技術系]
 - (a) 内 容 3次元CADスクール
 - (b) 実施日 第2回 10月23日～25日(3日間)参加6名
第5回 1月22日～24日(3日間)参加6名
第6回 2月26日～28日(3日間)参加6名
第9回 3月12日～14日(3日間)参加6名
- c 第3回ビジネススクール[千葉経済大学:経営系]

(a) テーマ 激変する経済環境と千葉の経済

- これからどうなるか、どう変わるべきか -

(b) 実施日 第3回 11月11日～25日(3日間)参加21名

d 第4回ビジネススクール[(有)エクリプス・サン・デザイン、服部税理士:経営系]

(a) 内 容 商業インキュベート施設入居者を対象とした実践的スクール

(b) 実施日 12月14日～22日(4日間)参加12名

e 第8回ビジネススクール[千葉大学:経営系]

(a) 内 容 ベンチャー企業経営者、ベンチャー支援専門家によるプレゼンテーションと、大学教授等を交えたディスカッション

(b) 実施日 第8回 3月8日～22日(3日間)参加18名

f 第10回ビジネススクール[監査法人トーマツ:経営系]

(a) 内 容 ビジネスインキュベート施設入居者を対象とした実践的スクール

(b) 実施日 第10回 3月8日～23日(6日間)参加14名

(5) 交流促進事業

ア 産学官連携促進

(ア) 産学官連携促進事業

事業者と大学研究者等をコーディネートし、各テーマについて調査・研究を行った。

a 資源リサイクル研究会

(a) 期 間 9月10日～2月5日(毎月1回:全6回)

(b) 会 場 財団研修室

(c) 参加者 千葉大学工学部立本英機教授他18名

(d) 内 容 家畜排せつ物処理を中心として、資源リサイクル技術等の調査・研究を行った。

b 地域商業活性化研究会

(a) 期 間 11月28日～2月10日(毎月1回:全4回)

(b) 会 場 財団研修室

(c) 参加者 千葉経済大学経済学部 安東誠一教授 他10名

(d) 内 容 栄町通り商店街の活性化について意見交換し方策の提案を行った。

(イ) 産学共同研究促進事業

産学共同研究により、研究開発や試作品の製作などを行い、事業化に向けての支援を行った。

a 屋上緑化工法(パレット工法)に係る研究

(a) コア企業 (株)みかど育種農場

(b) 連携大学 千葉大学園芸学部

(c) 研究テーマ 屋上植物の選定及び植栽パレットの土壌の水分消費に関する研究等

(d) その他 環境エキスポ2002出展(9月4日～7日)

- b ベッドへの移乗を容易にするための車いすの改良
 - (a) コア企業 (株)オーエックスエンジニアリング
 - (b) 連携大学 千葉工業大学工業デザイン学科
 - (c) 研究テーマ フットレスト部のスイングイン機能を有する車いすの開発
- c 小規模ボイラーの延命
 - (a) コア企業 (有)本郷サイエンス
 - (b) 連携大学 千葉工業大学金属工学科
 - (c) 研究テーマ 分離膜による小規模ボイラー給水の溶存酸素除去装置の開発
- d スクリーン印刷技術の精度向上
 - (a) コア企業 (株)ムラカミ
 - (b) 連携大学 千葉大学工学部
 - (c) 研究テーマ エレクトロニクス分野におけるファインパターンスクリーン印刷システムの開発
- e 生涯学習向け画像加工ソフトウェアの開発
 - (a) コア企業 (株)市川ソフトラボラトリー
 - (b) 連携大学 千葉大学教育学部
 - (c) 研究テーマ アプリケーションソフト開発における造形原理とGUIに関する研究
- f 弾性体を組み込んだ特殊金型に関する基礎的研究
 - (a) コア企業 (株)根本精機
 - (b) 連携大学 千葉大学工学部
 - (c) 研究テーマ 弾性体を組み込んだ特殊金型に関する基礎的研究

イ コーディネート

(ア) コーディネート事業

専任のコーディネーターを配置し、新事業創出のため事業者・創業者と支援・連携機関との多様なマッチングニーズに対応した。

(イ) 新規市場開拓支援事業

見本市のブースを財団が確保し、市内事業所に無料で提供。

募集期間 7月15日～8月14日

a 産業交流展 2002

- (a) 主催 産業交流展 2002 実行委員会(東京都他)
- (b) 会場 東京ビッグサイト
- (c) 期間 11月12日・13日
- (d) 提供数 5ブース

b 産業メッセ 2002

- (a) 主催 千葉県・(財)千葉県産業振興センター
- (b) 会場 幕張メッセ国際展示場
- (c) 期間 11月27日～29日

(d) 提供数 5 ブース

(6) 調査研究事業

ア 大型店出店影響度調査事業

市内に立地するコンビニエンスストアの実態調査。

(ア) 調査期日 9月～3月

(イ) 委託先 (株)ぎょうせい

イ 地域産業資源調査・発掘事業

(ア) サービス業実態調査事業

千葉市の重点分野である、「情報通信分野」「医療福祉分野」「環境関連分野」「新製造技術分野」及び「生活関連分野」に関わるサービス業を重点にした実態調査。

a 対象 市内サービス業事業所 746 社

b 調査手法 訪問ヒアリング

c 委託先 (株)UFJ 総研(委託期間 10月～3月)

(イ) 市内拠点地区のオフィス空室保有状況調査事業

オフィスマーケット動向を把握し、新事業の誘致を促進するための調査。

a 対象 千葉市拠点地区(千葉都心・幕張新都心・蘇我副都心)

b 調査内容 新規供給, 新規需要, 空室率, 募集賃料の推移, 千葉市のオフィス街としての位置づけ

c 委託先 (株)生駒データサービス(委託期間 2月～3月)

(ウ) 大学等における中小企業への技術連携可能性調査事業

県内所在の大学等研究機関研究者への、保有技術シーズの調査

a 対象 千葉大学, 千葉工業大学, 日本大学, 東京理科大学, 木更津高専

b 調査手法 訪問ヒアリング

c 委託先 日刊工業新聞社(委託期間 2月～3月)

(7) 技術振興事業

ア 従業者高度化支援事業

(ア) 中小企業従業者のための各種研修

中小企業従事者の技術力向上を図るため、専門研修機関等が実施する研修への参加支援。

a 支援件数 9件(株)住重プラテック, 中央商事(株) ほか)

(イ) インキュベーションマネージャー養成研修

創業者等に対する総合的支援・調整能力強化のため担当者を養成研修に派遣。

a 研修期間 6月11日～10月12日(16日間)

b 参加者数 2名

イ アイデアコンペ事業 (第1回「ベンチャー・カップ CHIBA」)

事業者・創業者の独創的な事業プランや技術を公募し、ビジネスプラン発表の場においてベンチャーキャピタル等とのマッチングを行うとともに、上位者には財団が事

業化への支援を行った。

(ア) 募集期間 6月3日～7月31日

(イ) 応募総数 26件

(ウ) 審査 8月7日の準備委員会で書類選考により8件に絞る

9月30日の審査委員会・準備委員会でプレゼンにより5件に絞る

(エ) 発表会 10月10日 ホテルサンガーデン

ウ 特許取得支援事業

市内、中小企業者等が特許権を取得する際に弁理士費用の一部を支援した。

(ア) 支援件数 10件

(イ) 実績 市川ソフトラボラトリー(株):手ぶれ補正装置・同プログラム出願

(株)ソニックデザイン:乗用車用スピーカー取付具出願 ほか

エ 新技術実用化支援事業

市内、中小企業者等が専門機関に、技術試験・技術検査等を依頼する際に、検査費用の一部を支援した。

(ア) 支援件数 5件

(イ) 実績

オーエックスエンジニアリング:車いすブレーキ用特殊弾性体複合部品の試作ほか

(8) 地域商業活性化事業

ア 商店街アドバイザー派遣事業

商店街の活性化を図るため、専門知識を有するアドバイザーを派遣し、その商店街にふさわしい事業展開を支援した。

(ア) 派遣件数 9商店街(延52日)

(イ) 実績 松波商工振興会:花いっぱい運動による連携強化や新店舗誘致

さつきが丘名店街:ポイントカード導入 ほか

イ 商業者育成講座事業

商業後継者の育成を図るため、講演会を実施した。

(ア) テーマ 「商店街はどこへいくのか」～顧客に選ばれる店になるには～

(イ) 日時 1月22日

(ウ) 場所 財団会議室

(エ) 講師 向島橋銀座商店街 理事 大和 和道

(オ) 参加者 45名

(9) 受託事業

ア 資金融資事業

中小企業者等の経営基盤の安定を図るため、資金融資事業の受付・調査業務を受託。

受付件数 980件

融資実績 801件(10,460,578千円)

イ 空き店舗対策事業

市が実施する空き店舗対策事業の支援候補商店街の審査等を受託。

ウ 内陸企業連合会関係事務

内陸企業連合会と共同して実施する、商談会・研修会等の業務を受託。

(10) その他

ア 地域新生コンソーシアム事業(経済産業省公募による補助事業)

コンソーシアムの管理を担当する法人として、2件を申請した。

(ア) テーマ「視覚特性に基づくデジタルカラー画質改善アルゴリズムの開発」

参加企業 (株)市川ソフトラボラトリー

参加大学 千葉大学工学部

(イ) テーマ「弾性特殊金型による積層形難加工材シート成形システムの開発」

参加企業 (株)根本精機

参加大学 千葉大学工学部, 千葉大学共同研究推進センター